

文藝春秋 2019年1月の新刊

1月12日発売予定 1600円＋税



跳ぶ男

青山文平著

【著者プロフィール】あおやま・ふんぺい 一九四八年十二月三日生まれ、神奈川県横浜市出身。早稲田大学政治経済学部卒業。経済関係の出版社に勤務後、フリーライターを経て二〇一一年「白樫の樹の下で」で松本清張賞を受賞。一五年『鬼はもとより』で大藪春彦賞を受賞。一六年『つまをめとらば』で直木賞を受賞。他の著書に『かけおちる』『春山入り』『半席』『励み場』など。

「私にとって

画期

となる

作品である」

青山文平

藩の命運をかけ、
少年は舞った。

荒涼たる土地に生まれた十五歳が、
芸によって掴んだ一筋の光。

文藝春秋刊
定価(本体1600円＋税)

土地も金も水も米もない、ないない尽くしの藤戸藩に、道具役(能役者)の長男として生まれた屋島剛は、幼くして母を亡くし、嫡子としての居場所を失った。以来、三つ齡上の友・岩舟保の手を借りながら独修で能に励んできたが、保が切腹を命じられた。さらに、藩主が急死し、剛が身代わりとして立てられることに。そこには、保の言葉と、藩のある事情があった――。

直木賞作家の新たな代表作、誕生。書評、インタビュー等ご検討下さい

【お問い合わせ先】株式会社文藝春秋

プロモーション部 電話:03-3288-6142 mail: pr@bunshun.co.jp